

学習課題(中学校1年生)



【数学】

<学習内容>

1次方程式を身のまわりの問題に利用しよう（教科書 P112～116）
～1次方程式を利用すれば、必ず答えが求められるだろうか～

<取り組み方>

- (1) 1本 130 円のボールペン 2 本とノート 3 冊を買ったところ、代金の合計が 710 円になりました。このとき、次のことを考えよう。
 - ① 数量の関係を、図とことばの式で表そう。
 - ② 分からない数量を文字を使って表し、①の図やことばの式から、方程式をつくろう。
 - ③ ②でつくった方程式を解こう。
 - ④ 問題の答えを求めよう。
- (2) Aさんは方程式を利用した問題をつくりました。

【問題】 1本 x 円のジュースを 3 本買って、1000 円出したところ、おつりが 500 円でした。ジュースの 1 本の値段はいくらでしょうか。

この【問題】の方程式をつくってみよう。

- (3) (2)を解いてみると、この問題は答えが求められないことが分かります。その理由を「取組シート」に書いてみよう。（家の人に説明しても良いです。）
- (4) 問題の答えが求められるようにするためには、どこをどのように直せばよいか考えてみよう。
- (5) 身のまわりのことについて、1次方程式を利用して答えが求められるような問題を考えてみよう。

<学習のヒント>

- (1) 教科書 P112 を参考にして、①～④の順に考えてみよう。
- (2) (1)の①、②で考えたことを参考にしてみよう。
- (4) (2)の【問題】を「買ったジュースの本数」、「出したお金」、「おつりの値段」など、自分で値を変えて問題を作り直してみよう。
- (5) 問題ができたら、答えが求められるか確認しよう。
問題が思いつかない場合は、教科書 P126 の 2 (1)を参考にしてつくってみよう。